



## 秋季駐車場研修会参加レポート

### 上海編

(株)虎ノ門実業会館

取締役社長室長 河村 恭臣

平成18年度社団法人全日本駐車協会秋季海外駐車場視察研修旅行は、2008年開催の北京オリンピック、2010年開催の上海万博と、2つの大きな国際イベントを控え、近年めまぐるしい発展を遂げている中国の上海、香港にて、東京・名古屋・札幌・茨城・埼玉・千葉・横浜・福岡の各地区協会から35名もの出席者を得て、駐車場の経営と管理、めまぐるしく変化している上海・香港の駐車場業界の現状について、を研修テーマに10月7日から12日までの6日間に亘り開催されました。

出発当日、前日の台風により欠航した便の搭乗客でごった返す成田空港では、チェックインカウンターに長蛇の列が出来、1時間以上も並ぶという状況でした。結団式の会場であった特別待合室には約半数の方しか集合することが出来ず、更には3名の方は空港での誘導ミスにより予定の飛行機に搭乗出来ないという波乱の幕開けとなりました。

飛行機の出発も遅れ、当日夕方に上海浦東国際空港に到着、その後アマノ(株)の現地法人である安満能国際貿易有限公司の十朱佳頻GMに空港駐車場をご案内頂きました。

### 【上海浦東国際空港駐車場 施設概要】

#### 第1エリア

1999年10月、空港のオープンと同時に運用開始

地上1階、地下2階、計3階建ての自走式駐車場

収容台数：約2,500台（内タクシー用駐車スペース約600台）

国際線用・国内線用・タクシー用で55台のカーゲートを使用し自動制御

13台のPCを使用し、タクシー誘導自動管制システム、消防システム、空港GPS標準時計との自動連動システム、外部システムとの連動等を管理

普通車用 入口：13カ所 出口精算所：12カ所

大型車用 入口：2カ所 出口精算所：2カ所

事前精算所：7カ所

駐車台数 平日9,000台 休祭日12,000台 日平均10,000台超

料金システム 2時間10元 以降1時間5元 1日最大料金50元

第2エリア

2007年10月運用開始予定

地上1階、地下2階、計3階建ての自走式駐車場

収容台数：2,305台（大型車：76台、中型車：150台、小型車：2,079台）

普通車用 入口：9カ所 出口精算所：9カ所

大型車用 入口：3カ所 出口精算所：3カ所

事前精算所：8カ所

新たに車番認識システムを導入し、駐車場システムと連動

リニアモーターカー駅の交通管理センターと連動し入庫台数、駐車台数、その他データベースとの相互交換が可能

第1エリア、第2エリアとも国際入札にてアマノ(株)が受注。

第1エリアについては2007年上半年期までにレイアウト変更、第2エリアと同様のシステムに変更予定。

その後、リニアモーターカー（正式名称：上海磁浮列車）にて「龍陽路駅」へ移動し、そこからバスにて上海での宿泊先であるホテル（新錦江大酒店）へと向かいました。バス内では上海でのツアーガイドをして下さった丁さんから上海の都市交通の現状、不動産市場等についてお話を頂きましたので、いくつかを抜粋して書きたいと思います。

まず、中国の都市における自動車の保有量は急速な伸びを見せ、特に上海では渋滞等の都市交通における問題点は日増しに深刻化している為、上海市政府ではマイカー所有には車購入と併せてナンバープレートを公開入札しなければならないという政策を取っており、現在は年間6,000枚の発行に留めているそうです。最近ではナンバープレートの入札価格は高騰し、1枚60万円もの高値がつくこともあるとのことでした。

不動産市場についても、まさに開発ラッシュと言える状況で、現在30m以上の高層ビルが上海市には約3,000棟あるそうですが、2010年までには6,000棟にまで達するそうです。また、現在ある約3,000棟の高層ビルも、ここ15年の間に建築されたものとのことで、その開発スピードの速さに驚きました。

ホテル到着後、若干の休憩をおいてから再度バスに乗り初日の夕食会場である上海蟹専門店「囃安蟹味館」に向かいました。囃安蟹味館では、成田空港で行えなかった結団式を行いました。初めに、原団長より今回の研修会テーマの確認、緊張しているアジア経済等についてお話を頂きました。続いて渡辺副団長の音頭で乾杯となり、全ての料理に上海蟹が入っているというフルコースを堪能しながら、親睦を深めました。

2日目は、まず上海市高級住宅地にある分譲・賃貸マンション「嘉里華庭」の駐車場見学に

行きました。途中、バスからは青空市場の様子等も見れ、昔ながらの中国人の生活風景を見ることが出来ました。「嘉里華庭」は香港系列の不動産会社が経営をしており、2000年に竣工した分譲マンションの1期、2006年9月に竣工した賃貸マンションの2期で構成され、駐車場についても、1次工事、2次工事と分かれています。

## 【嘉里華庭駐車場 施設概要】

**1次工事** 2000年運用開始

地下1階の自走式駐車場

収容台数：412台（定期契約車：360台

時間貸：52台）

時間貸料金：1時間9元 以降30分4.5元

1日最大料金50元

入口：2カ所 出口：2カ所（内各1カ所は定期契約車専用）

システム：ICカードを利用したアマノ磁気システム



「嘉里華庭」駐車場視察風景

**2次工事**

2006年9月運用開始

地下1階の自走式駐車場

収容台数：275台（定期契約、時間貸の割り振りについては調整中）

入口：2カ所 出口：2カ所（内各1カ所は定期契約車専用）

定期契約車システム：エントランス、エレベーター共通非接触カード（MIFARE ONE）

時間貸システム：中国本土初となるアマノチップコインシステム



「嘉里華庭」2期エントランス

その後、上海市の虹橋開発区にある上海国際展覽中心で開催されていた「上海国際パーキング&インテリジェントシステムEXPO2006」にて、多数の企業による出展ブースの視察を行いました。日本関係企業では、アマノ(株)、日立(中国)、石川島運搬機械(株)、大井建興(株)が出展されていました。

2日目の昼食会場である「上海緑波廊新桜」にて昼食を摂った後は豫園・外灘・新天地等を訪れました。古い木造建築の住宅や土産物屋が並び昔ながらの街の面影を色濃く残す豫園エリア、上海の中でも若者達の注目を集め最先端のスポットと言われる新天地、そして現在の上海の開発エリアの筆頭である浦東地区の近未来的ビル群を外灘から眺め、新旧両方の上海を感じるこ

とが出来ました。



豫園

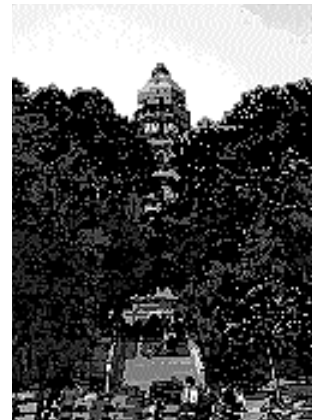


豫園内の太湖石

2日目の夜は揚子江の支流である「黄浦江」からの夜景を眺められるというナイトクルーズが予定されていた為、若干早めに「福祀」にて夕食を摂った後、遊覧船に乗り、夜景を堪能しました。当日は天気も良く、船から眺めるライトアップされた外灘と浦東はまさに絶景と呼ぶに相応しいものでした。

上海旅程最終日となった3日目は、2500年以上の歴史を持つ、庭園と伝統の水の都蘇州へと訪れました。卓越した伝統の技が今も受け継がれている蘇州の中でも刺繍では最高品質を誇ると言われる「刺繍研究所」では、まさに驚嘆すべき両面刺繍の作成現場、作品を見ることが出来ました。また、年々傾きを増し現在は塔内へ入ることが出来なくなった斜塔があることで有名な「虎丘」、世界遺産に指定されている蘇州四大名園の一つ「拙政園」、張継が「楓橋夜泊」を詠んだことで知られる「寒山寺」を見学し、長い年月を経た、ある種の落ち着きと趣を感じることが出来ました。

そして、再びバスにて上海へと戻り、夕食後は上海雑技団の華麗なる演技を見て上海での全てのスケジュールを終えました。



虎丘の斜塔



拙政園内の池